

原文

蒋介石が「アメリカへの依存を深め」た結果、「国民党と共産党の対立が激化した」ように誤解するおそれのある表現である。

共産党勢力の拡大を恐れた^{チャンチエシー}蒋介石は、大戦の終結後、アメリカへの^{いぞん}依存を深め、国民党と共産党の対立が激化した。共産党は、1947年に「中国土地法大綱^{たいこう}」を^{はいし}発表し、地主の土地所有を廃止する方針を示し、人口の大半を占める耕作農民の支持を獲得した。こうして1948年の総反攻で国民党軍を解体に追いやり、1949年10月に^{マオフオートン}毛沢東は中華人民共和国の成立を^(-p.173)宣言した。蒋介石の国民政府は12月に^{たいわん}台湾に^(-p.173)のがれた。

修正文

大戦終結後、アメリカの調停も失敗し、1946年7月から国民党と共産党との内戦が激化した。共産党は、翌年に「中国土地法大綱^{たいこう}」で地主の土地所有を廃止する方針を示し、人口の大半を占める耕作農民の支持を得た。優位に立った共産党は総反攻で国民党軍を破り、1949年10月、^{マオフオートン}毛沢東が中華人民共和国の成立を宣言した。12月、^{チャンチエシー}蒋介石の国民政府は^{たいわん}台湾に^(-p.173)のがれた。その後、社会主義陣営との対立が^{きんぱくか}緊迫化するなか、アメリカは蒋介石を本格支援するようになった。